レッスン：SPA76

テーマ：法則としての元型

SPA76/KE/00/M10

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちはいつも主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前回のレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーが部屋にいる間は創造の元型を身に纏う必要があります。創造の元型というこのシンボル、それは最大から最小のものまで創造それ自体を担っている法則です。

さてこの元型と五芒星との関係とは何でしょうか？これまでのレッスンで説明したように、五芒星は五感と５つの超感覚を意味します。しかし五芒星が意味するのはそれだけでしょうか？答えはノーです。五芒星はまた人間のイデアの形を意味します。しかしイデアの形（フォーム）が存在するためには、その背後に法則が必要であり、その法則は創造の元型なのです。ですから元型（それは創造界にある全ての背後にある法則）を意味するこのシンボルと五芒星は非常に密接に関係しています。

さて五芒星に関しては、これまでのレッスンで何故ポイントが下向きになっているかを説明しました。どのポイントですか？五芒星には５つのポイントがあり、その中のどのポイントでも構いません。それらの１つのポイントが下向きの時、それは五感を意味し、今人間のイデアと関連して、頭が下向きの人間となります。そしていずれかのポイントが上向きの場合、それは５つの超感覚、つまり本来の感覚です。なぜなら、その時人間は地上に立っているからです。

言い換えれば、現在のパーソナリティーとしての人間はもはや地中のなかではなく、地上に立っている四面ピラミッドのなかにいるからです。なぜなら、人間が５つの真の感覚を通じて自分を表現すること、それは現在のパーソナリティーが素質的可能性の４番目のサイクルに入ることを意味するからです。つまり、現在のパーソナリティーは徐々にゆっくりと５つの超感覚を現すということです。いわゆる火の洗礼が始まり、その洗礼を行う者、それはロゴスご自身です。

さて、現在のパーソナリティーは素質的可能性のサイクルから提供される様々な全ての助けを必要とします。勿論、部屋の中にいる間はその２番目のサイクルですが。しかし現在のパーソナリティーがワークをするために、真のワークをするためには、あらゆるもののなかで最大の助け、つまり創造の元型の助けを必要とします。

さて以前のレッスンで述べたように、この元型は五芒星のように守ってくれるものではなく、不定形の諸体の再形成に向けて引っ張るために使われます。なぜなら、既に述べたように、形を保つのは形ではなく法則だからです。もしこの法則が完全でないなら；完全と言うとき、それはつまり法則が完全に行われるということです。それゆえ、不定形の諸体があり、それは法則が完全に行われていないからです。

ですから不定形の諸体を再形成するためには、この法則が私たちに提供している素質的可能性の様々なサイクルをマスターするために努力する必要があります。いいですか、創造界にある、人間のイデアのためのみならず全てのための素質的可能性のサイクルは創造の元型のなかにあるのです。

植物界であれ動物界であれ生の他の王国のサイクルも創造の元型のなかにあります。それゆえ人間が現在のパーソナリティーの不定形の諸体を完全に再形成するステートに到達すると、自己実現した現在のパーソナリティーは創造界の中で何でも行うことができるのです…何でも物質化、非物質化し、どんな種類の動物でも物質化でき、生のいかなる類の現象でも物質化することができるのです。なぜなら、動物界も植物界も生の現象であり、生それ自体ではないからです。

**誰も生を創造することはできません。生それ自身であれ不可能です。**

**なぜなら、生は「ある」のであり、**

**創造されたのではないからです。**

Page2

ですから、部屋の中にはそれら全ての助けを提供されている現在のパーソナリティーがいます。そこにはあらゆる可能性があります。その部屋のなかで今私たちはどのようにしてワークしますか？現在のパーソナリティーは様々な助けを身に纏う必要があり、あるいは様々な助けのなかに入ることができます。前に述べたように現在のパーソナリティーはそれら全ての助けを創造する必要があります。そのための最善の方法は、様々なタイプのピラミッドとしてそれらの助けを観察することです。特に創造の元型を。まず最初は離れたところから観察し、その後で創造します。それにフォーカスし、その全ての詳細を観察するのです。

全ての詳細をどのように観察し、全ての角度からどのようにそれを見ることができるでしょうか？通常は、目の前にあるものを見る時には、前にあるものを見ますが、全ての詳細を観察するためにはそれを回転させる必要があります。観察の対象を３次元的に見る必要があります。観察するものを３次元としてみます。それが唯一の方法です。フォーカスしていない時でもそのように見るのです。言い換えれば、いつでもそれを視覚化することができるためには、あらゆる角度からそうするのです。

それを創造すると言いますが、しかし実際この元型は私たちの中にあるのではありません。それは最小から最大まで全てを保つ法則であり、それは私達の肉体の全ての原子、細胞、分子のなかにあり、サイコノエティカル体の全ての原子、細胞、分子の中にさえあります。そしてそれら全てのなかにあり、それは完全なのです。

しかし、肉体についてはどうでしょうか？肉体にとってそれは完全なのでしょうか？どう思いますか？それは肉体にとって完全なのです。しかし、肉体に関してはパーソナリティー同志の間で多くの違いが見られます。私が違いと言うとき、それは一般的な形ではなく、見かけのことです。生まれた時に実際に完全ではない肉体さえあります。何故でしょうか？法則は完全なのに何故身体は完全ではないのでしょうか？なぜなら、結局、それらは聖霊によって築かれるからでしょうか？肉体が完全ではない理由は、それらを保つ、形、フォームを保つ法則としての元型のせいではなく、原因・結果の法則のゆえなのです。身体は現在のパーソナリティーのために築かれます。それゆえ法則を責めるのではなく、現在のパーソナリティーを責めるべきです。そして現在のパーソナリティーと言うとき、それは実際やって来ては去っていき、転生する現在のパーソナリティーの乗り物なのです。しかし、現在のパーソナリティーとはそれまでの全ての転生における経験です。ですから、実際私たちは自分自身を責めるべきなのです。

さて、説明したように法則は全てのなかにあります。しかし小宇宙的には現在のパーソナリティーにとってそれは完全ではありません。それゆえに最初現在のパーソナリティーの全ての体は不定形であり、球体をしているのです。球体と言う時、それは惑星の球体を意味し、徐々にゆっくりと私たちはこの創造の法則に向けてワークをしていかねばならないのです。その結果、不定形の体は人間のイデアの形を帯びるようになるのです。

現在のパーソナリティーとして存在している間、あらゆる人間にとって同じ現れのバイブレーションを現すことは可能でしょうか？つまり、全く同じレベルの気づきにあるということです。どう思いますか？私たちの体、そして体の詳細は人によって異なるのでしょうか？答えはノーです。そして、地球上の全ての人間が自己実現に到達する時、実際それが起きるのです。しかし、勿論彼らは肉体を使う必要はなくなります。しかし、もし彼らが肉体を物質化するとしたら、その肉体は全く同じに見えることでしょう…特別な理由がない限り。つまり、彼らがバイブレーションを下げて助けを与えようとする以外は。

前に、この法則を完全なものとしなければならないと言いました。しかし、前に述べたようにこの法則は私達の内側にあります。現在のパーソナリティーのどの部分にあるのでしょうか？そうです、それは全ての原子、細胞、分子のなかにあります。しかしスパークに関しては、スパークのなかのどこにこの法則はあるのでしょうか？私たちは生それ自体としてはこの法則を使っていません。なぜなら、生それ自体として自分自身を表現するべきいかなる手段をも使っていないからです。私たちはこの法則に親しんでいるでしょうか？そして私達と言うとき、それは現在のパーソナリティーを活性化するスパークのことを意味しています。

Page3

さて、どう思いますか？私たちはこの法則、そして創造界にあるあらゆるものに親しんでいるでしょうか？創造界を私たちが味わう前に。スピリット・セルフ（スピリットである自己）はどうでしょうか？私たちはスピリット・セルフに親しんでいるでしょうか？そして親しんでいると言うとき、それはアウタルキーのなかで「生じている」事を意味します。

絶対存在が黙想し、創造し、そして創造界のなかでそれ自身を現すと言う時、絶対存在のどの部分が黙想するのでしょうか？その小さな部分でしょうか？創造の諸世界を通じてそれら自身から微細なスパークを放出するそれらのスピリット・セルフだけが黙想するのでしょうか？違います、そうではありません。それはワンネスとしての神です。黙想するのはワンネスとしての絶対存在です。そしてその一部分、そうです、ワンネスである絶対存在の一部分だけが黙想の特別な活動に参加します。黙想するのは全体的ですが、その一部分だけが特定の活動に入り、この特定の活動こそが創造の諸世界のなかにあり、創造界それ自体なのです。

ですから、この活動のなかにあるもの全て、それは絶対存在としての最大のなかにあります。ですから、スピリットからのスパークが様々なイデアの現れに入る前から、この法則は存在しています。ですから、アウタルキーのステートにあるあらゆるスピリットのなかにも、この法則は存在します。そして私たちはそれを持ってきており、それは実際私達のなかにあるのです。それは私たちの本質のなかにあります。それはその後になって創造されたものではありません。それは創造されたのではありません。それは私達の中にあり、生それ自体のなかにあるのです。それ故にこの法則は創造界のなかのあらゆる現れにおいて働いているのです。人間のイデアだけに働いているというわけではありません。そして人間のイデアはこれを他のイデア、他の現れに提供するのでしょうか？違います、これは全ての現れのなかにもあるものです。

いずれにしても、行うべきワークはたくさんあります。そしてあなた方は距離を置いてこの元型を視覚化する（イメージする）よう努力すべきです。そして徐々にゆっくりと、このフォームのなかにいる、この法則のなかにいる自分自身を見ることができるようになることでしょう；それは法則なのです。

それではこれから非常に重要なエクササイズをしましょう。本当のワークとはレッスンを勉強し、レッスンを暗記することではありません。それは真のワークではありません。真のワークとは、様々な素質的可能性のサイクルによって提供されているこれら全ての助けを使ってワークをすることです。それが真のワークであり、それには時間、忍耐が必要です。現在のパーソナリティーにとって困難なこと、大変なことをする必要があるのです。なぜなら、簡単な安易なことは多くのことを与えてくれないからです。難しいワークこそが利益をもたらし、簡単なものは与えてくれません。

SPA/76 エクササイズ　１

目を閉じて座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…あなたは純白に包まれており、自分の形の境界を感じています…あなたはまた純白の五芒星のなかで守られています…

あなたは今自分の部屋のなかにいます…それはあなたにとってよく親しんでいる場所であり、あなたは部屋の中にいます…五感を使っても部屋の境界がよくわかりません、なぜなら、あなたは部屋の霞がかった状態のなかを見通すことができないからです…今あなたを助けている全てのアークエンジェル達、つまりミカエル、ガブリエル、ラファエル、ウリエルそしてあなたの守護大天使の助けを求めます…彼らの助けを求めます…そして彼らの助けによって徐々に部屋のなかを見通すことができるようになります…少し離れた正面を見ることができるようになります…正面の壁から純白に輝く光が見えます…まるで純白に輝く光のスクリーンのようです…それはますます輝いてきます…右を見ると右側の壁からは赤い光が壁から輝いています、徐々にゆっくりと部屋の４つの壁から輝き出ている光を見ることができるようになります。そうです、後ろを振り向かなくても後ろで何が起きているかがわかります、知っているだけで、既にそれにフォーカスしている感じになります。

あなたは今知っています…あなたはそれを視覚化できます…もし前を見てその方向に集中すると、徐々にそこに何かがあることがわかります、それは創造の法則のフォームです…あなたが見ているのは３つの部分だけです、一番上には金色の大きな三角形、２番目はその下にある上から下へと広がるホワイトピンクの長方形で、３つ目はその下にあるホワイトブルーの大きな下向きの三角形です…あなたは今少し離れた所に浮いているこのシンボル、この元型を見ています…それほど離れた所にあるわけではなく、最大でも１メートル半ぐらい離れているだけです…色は非常に明るく輝いており、目の前にあります…勿論、その形は光から出来ていますが、あなたには２次元的に見えます…今のところそれ以上には見えません…垂直の表面のように見えます…あなたが今何をするかというと、そのシンボルを上と下の大きな三角形の頂点を結ぶ垂直の軸を中心に回転させます…それを回転させてください…今その元型、シンボルが厚み、存在感を帯びてきます…そしてその厚み、そのサイズはあなたの肉体のサイズによります…もしあなたがやせていれば、その元型の厚みとあなたの身体の厚みは同じくらいです…もしあなたが元型のなかに入るなら、それはあなたの身体を完全にカバーする必要があります…引き続きそれを回転させて観察します…それを色々な角度から自由に見ることができなければなりません…それを見て、それを視覚化します…回転させるのを止めて、今再びこのシンボル、この存在はあなたの前に浮いています…なぜならそれは存在するからです、それは今やあなたにとってリアルなものとなっています…

それでは今、あなたの肉体のなかにある現在のパーソナリティーを構成する３つの太陽を活性化します…太陽神軽叢のホワイトブルーの光、エーテル体のハートのホワイトピンク、そして頭の中心の金色の光です。３つの太陽はあらゆる方向に輝いています、勿論あなたの部屋のなかで。あなたは部屋の外を見ることはできません。さて、これらの光の輝きにフォーカスします、そして今、各光は同じ輝きを持つこのシンボルの各部分にビームのように行き、触れます…言い換えれば、頭の太陽の光は上向きの大きな三角形に触れ、ハートの太陽はホワイトピンクの長方形に触れ、太陽神軽叢からの光のビームは下向きのホワイトブルーの三角形に触れます…ですから、あなたは現在のパーソナリティーとしてあなたの前にあるこの元型、このシンボルにつながります…このつながりの結果として、両者の間に引き合いが強まり、それはあなたの方に引っ張られます…徐々にその形のある光の輝きはあなたに近づいていきます…それを感じることができます…そして今あなたはこの法則のなかに入ります…あなたは今この元型を身にまとっています、あなたはその中にいます…しかし同時にあなたは五芒星のなかにいて、五芒星があなたの身体全体をカバーしており、身体全体は五芒星のなかにあります…しかしあなたの身体全体が元型のなかにあるわけではなく、前に述べた部分だけが元型のなかにあります…つまり、この元型の各部分があなたの肉体に相当する部分だけが元型のなかにあります。

あなたの頭は金色の大きな三角形のなかにあり、そこから下へホワイトピンクの長方形があり、その下にはホワイトブルーの下向きの大きな三角形があります…今あなたはフォーカスすることなくその詳細を観察することができます…既に前にそれにフォーカスして学んでいるので、全てはあなたの記憶のなかにあるので今はそれを見るだけです…この元型が現在のパーソナリティーに与えられている素質的可能性のすべてを完全に表現するのを助けてくれるように願います…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。最愛のお方のアガピと祝福があなた、あなたの家庭、あなたの愛する人々に与えられますように。私たちは常に主、主の聖性に抱かれています。

Ｑ：進化・成長について考える時、芸術、社会学などで人体について非常に深く学んだ時がありました。

Ｋ：そうです。結局、私たちがどのように見るか、それは私たちが経なければならない経験によりますが、また私たちが他人に与える体験にもよります。私たちがどのように見るか、詳細にですが、それは経験の結果です。鏡を見て、そこに映っている自分の姿を気に入る、または嫌う等です。誰かを見て、その姿を好んだり、嫌ったりします。この少女は美しい、あるいはこの男性、少年はハンサムだ、と言います。何故でしょうか？経験です。しかし、身体、その形を保つ法則は完全です。たとえ身体が完全ではなくても、その身体の詳細は法則とは関係ありません。なぜなら、手がなかったり、足が失われていたりといった詳細におけるケースがあるからです。それは現在のパーソナリティーではありません。肉体は現在のパーソナリティーではありません。

肉体は体験を経て、体験を与えるために現在のパーソナリティーが用いるものです。現在のパーソナリティーの諸体、それは法則の結果であり、それは経験の結果と関係していますが、それはサイコノエティカル体のことであり、肉体ではありません。肉体にとって、この法則は完全なのです。

しかし、私たちがこの形を視覚化し、創造するようにと言う時、それは実際には私の内側にあるのです。もし誰かが既に内側にある何かと同調することができるなら、その時その人はそれが既に内側にあることがわかるでしょう。それを表面にもたらすのは流出（emanation）です。誰かが自分の「魂のセルフ・エピグノシス」と同調すると言うときには、それが実際に生じているのです。以前のレッスンで説明したように、それが役立つのは現在のパーソナリティーとして存在している時だけですが、それは何かの結果です。何の結果でしょうか？前に話したことを覚えているでしょうか？この法則の結果は何でしょうか？それは「生」の本質のなかにあります。無からはなにも出てきません。それゆえ「生」の本質のなかにあるのです。学ぶ上で便宜上、初めと終わりがあると言いますが、それは真実ではありません。絶えず黙想している神が存在し、神が黙想していない時などありません。なぜなら、「生」にとって静止というものはないからです。絶えざる動きがあります。ですから何であれ現れているもの、何かが現れるためには、そして何であれ存在するためには、そこには法則があります。この「法則」はどこからスタートしたのでしょうか？誰がこの「法則」を創造したのでしょうか？法則とは創造されたものだと思いますか？とんでもありません。アウタルキー、絶対アウタルキーのステートのなかで絶対存在がそれ自身のなかで創造するということはありえません。ちがいます。その「本質」のなかにあるに違いありません。全てはそこにあります。ですからこれら全て、何であれ最大の中にさえあるもの、それは絶対存在の本質のなかにあります。それは現れの様々なバイブレーションのなかにのみ見いだされるというようなことではありません。違います。

Ｑ：その「本質」のなかにあるのはその法則だけなのですか？

Ｋ：これは全てです。

Ｑ：なぜならあなたが他の法則があると言ったからです。

Ｋ：この最大の「法則」のなかには他の全てのより小さな法則があります。それらは異なったサイクルであり、それらはそのなかにあります。全てです。そしてこのフォームは例えば「生それ自身」によって、それ自身の中の「神自身」によって現されています。そして「汎宇宙的キリストロゴス」、絶対存在があります。この法則がそれらの諸法則を提供しています。なぜなら他の全ての法則はこの一つの法則のなかにあるからです。ですから、それがこの大きな三角形です。実際、絶対存在がその本質のなかでその本質を現しています。今それを現しています。前はそれは現れていませんでした。今それは現れとなっており、それは特定の活動、動きとなっています。

Ｑ：現れの前、そのステート、つまりアウタルキーにおいては何があったのですか？

Ｋ：理解するために、そのステートのなかでは、それはこれに相当しますが、それはこれです、このフォームの回りです（＊図を見ながら説明しているようです）。でもそれは便宜上理解するために述べています。それ自身のなかでそれ自身を現していないステートにおける絶対存在があり、それは静止状態の絶対アウタルキーです。そこに動きがあります。振動もない、何も動いていないバイブレーションです。何も振動していない動きです…もしそれが可能であれば。それは不可能です。それは生じ得ません。なぜなら、そのようなことはないからです、理解するために便宜上そのように説明しています。初めに、勿論特定の動き、活動の後に、イデア、諸法則、諸原因などが生じます。それらはどこでしょうか？この中です。それら全ての背後には（唯一の）「法則」があります。全ては調和のステートのなかにあります。

全ては全てのなかにある、と述べる時それは、あなたは自分が観察したいと望む何かの最小のなかにいることを意味します；でもそれもまた適切な言葉ではありません、なぜなら同化(assimilation、同化、消化、吸収などの意味)があり、あなたはその何かになるからです。そして同時にあなたはそれを離れた所から観察することができるのです、もし好むなら離れた様々な地点から。しかし同時にまた、あなたは観察することができ、同時にあなた自身の他のたくさんの観察でもあることができるのです。それを理解するのはとても困難です。これが調和(harmony)　であり、それが調和の状態です。無の海のなかに見失われてしまうなどと考えないでください。ちがいます。同時にここに存在するもの全てをあなたは楽しむことができるのです。言い換えれば、その瞬間にあなたは全てを味わうことができるのです。これが「生の本質」の能力です。

勿論、現在のパーソナリティーはこのリアリティーのほんの微細な僅かを味わうことは可能ですが、それは高次ノエティカル体のなかで２つの体を同化した時にのみ味わうことができます。その瞬間において現在のパーソナリティーはスーパーサブスタンスの海のなかに浮いており、そこでは「生」の偉大さをいくらか味わうことが可能です。それを言葉で説明することはできません。誰もそのステートを説明することはできません。そこでは白黒、明暗などの意味はまったくありません。現在のパーソナリティーがサイコノエティカル体を使用しているここでは、全ての原子、細胞、分子などはそれ自身の光の源があるにも関わらず、昼間と夜などの違いが見られます。あなたは見て、今は昼間だとわかり、太陽の輝きの結果を見、暗闇と識別します。意味の違いがあります。しかしもしあなたの意識が高次ノエティカル体に入ると、そこにはもはやそのようなものはありません。もはや意味はまったく存在せず、全てはただ「ある」だけです。二元性はありません。

私達一人一人は自分自身の現実、リアリティーを生きています。しかし高次元から見るとそれはイリュージョンです。しかしレッスンのなかで何回も述べてきたように、現在のパーソナリティーが実際にアプローチしているのは、相対的現実の様々な段階なのです。そして相対的現実のそれらの段階を過小評価すべきではありません。

ですから、知識だけでは十分ではありません。実際のワークが大切です。これら様々な助け、様々な諸法則によってワークをすることです。なぜなら、それは創造の最大の法則のなかの諸法則に関するものだからです。沢山の知識でもって山を動かす人を目にすることはないでしょう。そんなことはありえません。例えメソッドや知識を暗記するためのテクニカルなメソッドがあるにしても、もしあなたが何回も繰り返すなら簡単に何かを暗記することができます。しかし気づきのレベルを高めるためには、多くの転生を通じての懸命なワークが必要となります。私たちは何かを獲得する必要があります、一生懸命に努力した結果として何かを得る必要があります。

ですから、真理の探究者として、真理を探究するために、人間がより良いセルフを現し、人間がその本質（それは生であり、神なのですが）に近づくための全ての努力を尊重し、讃える必要があります。もし私たちがそれに成功するなら、この地球という惑星にバランスが生じ、平安が訪れることでしょう。しかし勿論、そのためには様々な教会には大きな責任があり、それに向き合いましょう。私たちはそれらのためにワークする必要があるのです。

EREVNA SPA 76/KE00/M10